



令和4年6月15日

報道機関 各位

国立市市長室広報・広聴係

希少な“くにたち産の日本朝顔”が手に入る！

## 第34回 くにたち朝顔市を 開催します

予約販売優先  
予約割引あり

国立市の夏の風物詩として定着し、市内外の方々に愛され続けている「くにたち朝顔市」を、今年も開催します。

34回目を迎える今夏も、市内の朝顔栽培農業者が「朝顔の里」で共同栽培した、ここでしか手に入らない“くにたち産の日本朝顔”（あんどん仕立て）を展示即売します。今回は、規模を縮小して新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めての実施となります。

このことを、市内外の皆さまに広くお知らせしたく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

### 記

1. 日程 7月2日(土)・3日(日)
2. 時間 午前7時～午後2時(売り切れ次第終了)
3. 場所 JR国立駅南口大学通り緑地帯(一橋大学正門南側)
4. 販売する朝顔 (品種は「富士」と「暁」の2種類)  
通常1鉢：2,000円  
※事前予約すると200円割引。  
**事前予約** 6月24日(金)までに、メール、ファクス、郵便はがきで  
問い合わせ先までお申し込みください。  
※品種(2種)は選択いただけますが、お好きな鉢をお選びいただくことは  
できません。  
※一鉢から宅配(ゆうパック)できます。お客様に国立郵便局にお持ち込み  
いただくこととなります(贈答に最適な専用梱包箱は別売)。  
※模擬店出店等の付帯イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、  
今年は縮小します。会場での飲食はできません。



▲くにたち産の日本朝顔。



▲くにたち朝顔市の Facebook。

## 【参考】くにたち朝顔市の歴史

### ○朝顔市を始めた経緯

当時、市内のイベントとしては、春のさくらフェスティバル、秋の天下市・市民まつりがあり、夏のイベントだけがぽっかりと空いて、寂しい状況でした。何か、この時期に大学通りをいかしたイベントはできないかと市民の有志が考えました。せっかくなら「子供たちにふるさとの思い出」を提供できたらとの想いも重なって、平成元年に第1回目の「くにたち朝顔市」が始まりました。

### ○国立産朝顔への経緯

当初は、入谷朝顔市でも仕入先としている江戸川区内の栽培者より朝顔を仕入れていました。こうした中、第1回目から参画していた農業者が、平成2年に「朝顔・鉢物研究会」を結成し、江戸川区内の農園に研修に出かけ、本場の技術を学びながら、試行錯誤の中で朝顔栽培に乗り出しました。

第2回目では試行的に、国立産朝顔が展示されましたが、半数以上は江戸川区産に頼っての開催となりました。第3回目には生産者が加わり計5軒の地元農業者によって、販売される全てが国立産の朝顔となりました。

現在は、朝顔栽培農業者が共同して「朝顔の里」をつくり、国立産朝顔を提供し続けています。

### ○国立産朝顔の現況

朝顔の里で栽培される朝顔は「日本朝顔」で、あんどん仕立てとなっています。日本朝顔の最大の特徴は、大輪であることです。花は午前中に鑑賞を楽しめますが、午後には萎んでしまいます。都度、花芽を摘むことで秋口までの長期間、鑑賞することができます。

### ○生産農家の軒数 4軒

最盛期には、10人以上がつかう巻き作業等に当たっています。

以上

問い合わせ

くにたち朝顔市実行委員会 担当：吉原  
(国立市商工会内、富士見台3-16-4)  
TEL：042-575-1000  
FAX：042-574-1888  
MAIL：k.asagaoichi@gmail.com

※くにたち朝顔市は、実行委員に国立市も加わって運営しています。